

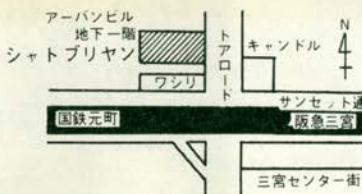
★トアロードの坂道にあるアーバンビルの地階。オレンジ色と白のモダンなインテリアのファンシーなレストラン。神戸っ子の応接室！それが「シャトーブリアン」。

ランチ・タイムには、OLやサラリーマン、買物客がランチ（A 800円、B 500円、C 350円。スープ、コーヒー付）を食べに来る。スープの種類が毎日変るのは楽しい。2時頃からのそれ時までは、松蔭や山手のキュートな女の子が、自家製の「レモンパイ」、「アップルパイ」、「シャトーブリアンパフェ」等を楽しみに。

夕方から10時までは、若いカップルのディナー（A2500円、B2000円、C1500円）。牛仔、伊勢海老がいつ行っても食べられるのは有難い。新鮮な生ガキもバグン！楽しい語らいにも最高の時を過ごせます。

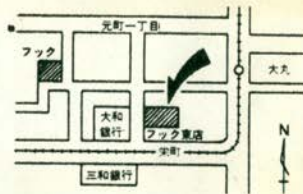
営業時間・午前11時～午後10時（日曜、祭日9時迄）

定休日・第1、第3月曜日

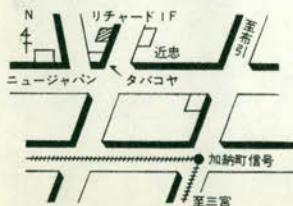


シャトー ブリアン

フック東店



KOBE EATING GUIDE



リチャード

カルム



★昨年はいろいろなことがあった、と思っておこす人は、神戸の山手の静かなたたずまいにオープンした本格派スナックバー「リチャード」の扉が印象的であったはずだ。

山手にマッチしたレンガと木彫をうまく生かした扉を入ると、天井のゆるやかなカーブとクールな金属製のペンダントが眼につく。黒のレザーの椅子に、すっきりとしたカウンターの木目が美しい。壁面は、部屋全体がその名もリチャード王朝時代を想わせるランプと本ものの車輪が三つ飾られ、それがくるくる回るのも一興だ。

午前11時から午後4時までは軽食喫茶として周りのビジネス街に好評。コーヒー、紅茶（¥100）スパゲティ（¥150）で、特製スパゲティ、カレーライスにはミニサラダがサービスとして付く。夜はピザ、鯛ごはん（¥350）お茶漬（¥200）

昭和45年を迎えた神戸の夜の第一歩は、ぜひ「リチャード」から出発していただきたい。

★神戸に入港する外国船は動くホテルだ。エトランゼ達は六甲を眺め、斜面に這う家並みに見とれ、そして夜景に心を奪われる。これを故郷の母に語ろう。そう思っキラリと感動する。

そんなエトランゼにも知られているところ、それが栄町二丁目の大和銀行を北に入ったステーキハウス「フック東店」だ。一階はカウンター、二階は欧風ムードのテーブル席。スイス生まれのフォンデュ鍋は、そんな二階のムードにぴったりの料理。

今月は、ステーキハウスとして名実共に備わった店にしたいと張りきる腕自慢のcockさんが挨拶する。写真の左からチーフcockの有馬さん、マスター、大野さん、富山さん、他に今田さん、中原さんと、総勢6名がフック・ファンの来店を待っている。

お昼時には、リザーブ係（32-3208）へ気軽に予約されるといい。ステーキ（1200円～）フォンデュ鍋（1800円）その他洋酒も楽しめる。営業時間AM10:00～AM2:00、新年は5日より営業。

★トア・ロード、アーバンビル2階のグリル&サバー「カルム」は、静かで落ち着いたお店。淡いページと緑で統一されたフランス風室内は中央の紅いピアノに緑はかな光が影を落とし、ムーディな雰囲気。

恋人たちにはダンスを、ご家族づれにはリクエスト曲に応じてくれるヴォーカルを楽しめる。

ムードだけでなく、食事の方もマカロニグラタン（250円）、ハンバーグステーキ（400円）から定食（1500円）、ビーフステーキ（2,000円）まで、心ゆくまで味わえる。飲みたい方はカウンタースペースでカルム特製のカクテル「片思い」、「カルムの人」（250円）はいかゞだろう。

ムードを楽しみながら、料理、カクテルと、家族づれから深夜族までに親しまれている。

新春パーティにも貸してくれる。営業時間午後5時から深夜3時まで。



Restaurant & Coffee
CHATEAU BRIAND

神戸市生田区北長狭通3丁目5番地
トアロード・アーバンビル地下
☎ (078) 33・2050



HOOK フック 東店

神戸市生田区栄町1-5-3 TEL (078) 32-3207

KOBE EATING GUIDE

スナックバー

Richard

神戸市生田区山本通1丁目9
小寺マンション1F
TEL 24-3041



Gulf & Super
だる

神戸市生田区北長狭通3丁目5番地
トアロード・アーバンビル2階
TEL (078) 39・4805 (代表)





下なく

雅羅沙

生田区下山手通 2-29
神戸ビル1F
TEL 39-8894

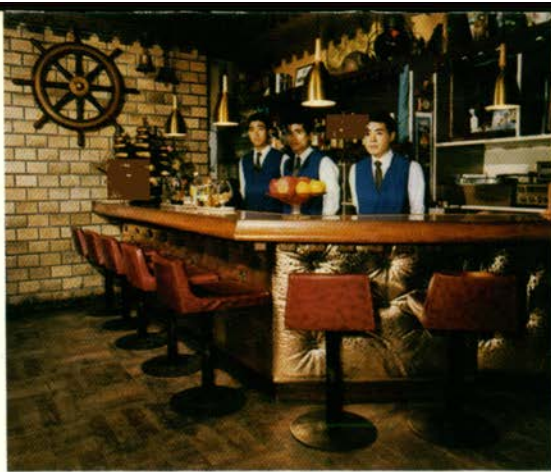
食事処

めばえ

神戸市生田区下山手通
2丁目31-2
TEL 33-6792



WINTER KOBE GUIDE



SNACK BAR

マゼラン

生田区加納町 4丁目
TEL 39-2366



DRINK & SNACK
スネカシリッ子

中山手通 2丁目13
永晃ビル地下
TEL 39-8708

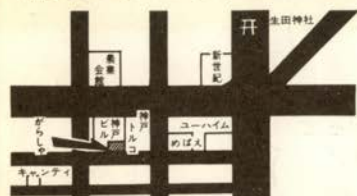


★細川ガラシャは明智光秀の娘。乱世に生まれ細川忠興の妻となる。洗礼名をガラシャという。

すなわく『雅羅沙』は昨年11月に誕生。ステンドグラスが風変わりなプライベートルームを想わせる暖かさを与える。暖炉の灯影が部屋のトーンを柔らげ、コクのある艶を持った金色のペンダントの生む明かりに望月美佐さんの書が映える。『がらしゃ』の字は望月さんの筆によるものだ。

マスターの岡田正美さん。京都美大を出て、現在神戸光風会に属する若き画家。ヨーロッパのあちこちで気の向くまま絵を見てくるといふ美術旅行を試みた。その時の経験が、このたびの店のインテリアに生かされ、また絵を通じた友達が装飾を手伝うなど、マスターの若い世代りの飾らない人格が好まれている。

水割り ¥ 350、ビール(小) ¥ 200、営業時間 P M 5 : 00 ~ A M 12 : 30



雅羅沙



めばえ

★姫路城の一郭が神戸にある。それがお食事処『めばえ』だ。姫路城西の丸に使われていた 360年の歴史を誇る柱を使った壁面は、白壁とマッチしたお城の一室を思わすインテリアデザイン。

城主(?)の岡田ふみさんは、ママさんというより『おかみさん』といった感じ。歯ぎれの良い声と、腕のいい弟さんの作る料理は粋そのもの。

お客さんも『ふるさとの味だね』とか『郷愁を感じるワ』など、純日本的なあっさりした味に舌つづみを打つ。毎日新しい素材で、お客様に新鮮さ食べてもらおうと努めている。

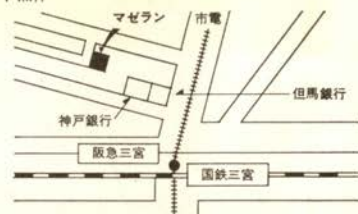
おいしい料理と、心づかいがグリーンとお客さんの人気をさらっているのか、あまり遅くなると、仕出し女乳(メニュー)の数が少なくなっているヨ。今は季節的に無理だが、珍味料理の一つに(愛久利夢婦裸慰)がある。お茶漬もある気安さと感じの良さが何よりもありがたい。麦酒(大) 200円 (小) 150円 日本酒は菊正宗(特級) 180円 P M 5 : 00 ~ A M 12 : 30

★舵輪は、躍動する神戸港をあらわし、帆船は、港に迫まる六甲の嶺をあらわしている。神戸っ子の心のふるさとを伝えるミナト街のムードがいったいの店、それが阪急三宮の山側、但馬銀行の北路地を入ったスナックバー『マゼラン』だ。

金色の洗ひペンダント、黒のレザーストール、そして木目のテーブルと落ち着いたある豪華さは、さすが神戸のスナックのハシリと云われた風格を持っている。今年で5年目というだけある。

マスターの香川さんをはじめ、いずれも若いバーテンさんが三人。古代の戦車と戦士のレリーフの中で、全くなごやかにリラックスできるのが、なおも神戸で人を魅きつけているところだろう。

ビール(中) ¥ 300 オールド水割り ¥ 350 スパゲティ ¥ 250
野菜サラダ ¥ 300 年中無休



マゼラン

FALL
IN
KOBE
GUIDE

スネカジリッツ



★街路樹の葉がすっかり落ちて、足もとで渦を巻いている。オーバーの襟をたてるポーズにもオシャレが見られる。そんな時、ふっと今宵は飲みたいたいと思う。別にこれといった不満があった年を越したわけでもない。琥珀のグラスにただ新春のあいさつがなくなるわけさ。そのために、それだからこそ、今日も『スネカジリッツ』であなたと会えたのだ。

あそこにいるのがママの桂子さん。今年もよろしくネ、と言ってるよ。この店のデザインに桂子さんの心がこもっている。バーテンさんも若くって、それだからいいわ。暖炉のローソクの光が、いつも僕と、僕たちと桂子さんの友情のあかしなんだ。

P M 5 : 30 ~ A M 1 : 00まで、第1・第3月曜日は休み
水割り G & G ¥ 300 ビール(小) ¥ 200 おつまみ ¥ 100 ビッツ ¥ 350
ミニチュアピン(W) ¥ 500

ロイヤルなフレームで...



MAKE UP TO ROYAL

すばらしい……あなたに

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎ 321212 代表

三宮店・さんちかタウン ☎ 391874～5

'70 A
**HAPPY
NEW
YEAR**

皆さん
今年もマックを
可愛いがって
下さいね!



MEN'S SHOP
若人の服飾

MAC

★本部 / 神戸市生田区三宮町1丁目32 / TEL.39-0991

★三宮店 / 神戸三宮センター街 / TEL.39-0895

★トアロード店 / 神戸三宮センター街西口 / TEL.39-0896

★新開地店 / 神戸新開地本通 / TEL.55-7688

★姫路店 / 姫路・姫路駅デパート2階 / TEL.23-1261(代)〈内線60〉

★京都店 / 京都藤井大丸2階 / TEL.221-8181(代)

COMPUTOPIA 1970

★街は大量情報の洪水で溢れている。その中で現状把握と適確な都市の創造を試みねばならない。そのための明確な指針と利用可能な道具が必要である。そこで指針を、京都大学人文科学研究所梅棹教授が去る11月23日、神戸青年会議所経済活動委員会で行なった講演の要旨でまとめ、道具の方として、神戸におけるコンピュータのメーカーとユーザーの座談会を収録した。

(編集部)

□特集1□

感覚情報で街の創造を

梅 棹 忠 夫△京都大学人文科学研究所教授・社会人類学▽

★固定したモダニズムが神戸の街の感度を鈍くする

情報産業の考え方、またその特徴、具体的にどれほどいままでの工業社会での物の観念と異なっているのかから話を進めて行きます。

神戸という街は、私も子供の頃から親しみがあり、家内も神戸出身ですので大体のことは知っているつもりなのです。最初から皆様のお気に障ることをいいますが、神戸はセンスの良い街だ、モダンだという点では私も同感なのですが、これに関して若干否定的な面もあると思うのです。案外神戸に住んでいる方には気が付きにくいことですが、なるほど昔はそうであったかもしれない。ところがセンスの良さ、モダニズムというものに安住しているうちに世界の方がどんどん動いて行って、気が付いてみると神戸は意外に古めかしい、感覚的に遅れた街になりつつあるのではないか、という気がしないでもない。具体的に一例をあげますと、神戸の中学校、高校の学生

を見ると、全部丸坊主で制服を着ている。神戸は明るい街だ、感覚的にすぐれた街だと思っている者が、ああいう学生達に囲まれると烏天狗の集団に出会った感じがします。これを平気で放っておくというのも気質でしょうが感覚的な古さを感じる。つまり戦前のままの感覚が固定しているのではないか。国際的な感覚からいうと丸坊主で黒い制服を着せているのは異常なことです。

モダニズムというのは、大正デモクラシーから昭和初期にかけてあったのですが、今から考えると非常に古いものです。神戸はその辺のモダニズムで固定したのではないか。

戦後日本の目指した目標は、全日本の重工業化で、この傾向は日本の歴史では一九二〇年前後から始まっている。戦時中で陥没はあるが、戦後も戦前の工業発展の延長線上で発展が続いている。日本の社会構造、産業構造日本人の生活体系の発展は明治以後の上昇カーブのっている。これは世界的な傾向だが、今までの発展は物質とエネルギーですべてがやって行けると思われていた。

ところが戦後になっても神戸には偉大な港がある。大阪は商圏、工業圏としての工業地盤が残っていた。それはいずれも物とエネルギーの生産、流通、管理に結びついた機能です。これが戦後の神戸、大阪の発展の原動力であったと同時に、今や障害になりつつある。

しかし京都は、戦後重工業化路線に日本全体が乗っている時、はじめから脱落しているのです。それだけ問題が深刻で、戦後京都が打ち出した方針が、インターナショナルと観光という二つの方向で、ところが観光の方が



梅 棹 忠 夫 氏

★物とエネルギーの生産・流通から知恵の活動への時代
ところが神戸では、その異質なものに對するアンテナの性能が悪くなってきたのではない。戦前の神戸における非常に良い意味でのモダニズムが、戦後の港を中心とする関連産業の発達における物とエネルギーの生産・流通・管理の中で固定して新鮮さを失った。新しい時代の胎動に耳を傾けるというほどの危機感がなかった。神戸はまだまだ楽観的であったのではないだろうか。

それでは京都で具体的にどのような転換があったかというところ、京都最大の工業は西陣で、織維工業です。ところが西陣の産額の上がるシステムを考えると、西陣では布をつくっているのではない。物質としての衣服、すなわち衣料をつくっているのではなく衣装、あるいは意匠をつくっているのです。西陣でデザインした原図を田舎で織って西陣のブランドをつける。そうすると値が上がる。物、すなわち布としての価値ではなく、西陣の目をくぐり意匠を布に与えて衣装を生みだし価値を高めている。これが情報ということなのです。物に情報を与えることによって物の値が上がる。それが情報の価値です。それは神戸において、灘の酒を考えていただくように分ると思うのです。銘柄ですね。物の世界に

どうもうまくいかない。となると京都市民一四〇万人をどうして食わすか、京都の特殊性を守りながら将来どのように生きていくべきか、これは深刻な問題なのです。現代は異質なものが展開し動いている。京都は戦後、頼るべきものがなく、物質とエネルギーを離れたところではしか出発しえなかっただけに、その異質なものに對する感覚が高かった。危機感が感覚を高める役割をした。そこで京都の財界人が本気になって取りあげたのが情報産業の問題です。

情報が加わって価値が高まる。これは出版業を考えると一層あきらかです。新聞、雑誌、包装紙は、紙そのものの物としての価値が売れているわけではない。紙に載っている情報を買っている。出版業者の情報活動が経済価値を生んでいる。なぜ情報に価値がつくかというところ、ここに人間の知恵、大脳の活動がそこに込められているからだ。知恵の活動というのが情報産業の一番基本的なことです。これは京都のような頼るべき工業がないということだけでなく、物に依存している場合でも大いに考えねばならないことです。エネルギー物質時代から情報

産業時代へ大きく転換しつつあるというのは、そういうことなのです。

全ての産業における情報価値が大変大きくなりつつある。全ての工業製品、すなわち物の動きの中でも情報が価値を生んでいる部分がどんどん大きくなって、まもなく物そのものの、物質の価値よりも情報価値の方が経済の主力を占めるようになる。これが新しい時代の胎動、異質な動きであるわけです。たとえば日本の重工業のトップを行っているといわれる自動車産業を考えると、デザインを抜きにした自動車は考えられない。いかに人間に快感を与えるデザインであるかが問題なのです。これが感覚情報なのですね。自動車を買うことが、乗りたいから買うというところから今では感覚情報を買うまでになっている。洋服にしても柄とか着心地とか非常にデリケートな感覚情報に問題がしばられている。ファッションの盛んなイタリアでは、「見かけこそ本質」という言葉があるが、これこそ物質とエネルギー時代の技術主義と情報主義との逆転を言いあらわしている。

★情報都市群の構想の中で、神戸に情報産業を

人類の知恵は歴史的に農業、工業に結びつき、生産を高め、いたずらに物質がはんらんする結果となった。すなわち物の考え方として農業時代から工業時代の過程でただ工業化を進めることを国民が教育されてきて、人間の知恵が工業社会の中の情報化を生みだす結果となると、今度は情報のはんらんの中で工業化社会を否定する傾向がでてきている。しかし一方では工業だけが頼りだという意識も根強く残っている。ところがこの考え方も時代遅れで変らざるを得なくなってきた。今日都市の近代化ということを考えると工業化した都市にいいものはない。工業は国の中に格差、段階を生み、それが前に言った異質なものに対する感度を鈍くしている。農本主義が農地を開墾して農業を行なうのに比べ、工本主義のは

たけが工業といえるが、工本主義時代に許されたことが情報産業時代に入ったマイナスの価値に転化することがいっぱいある。たとえば具体的に公害という問題が起きている。

物の生産、流通は既に都市の機能ではない。基本的には情報による管理中心の巨大な情報センターでなければならない。これは神戸を考える時の大きなポイントになってきているのではないか。ここで最初の新しい時代に対するアンテナ網の問題になってくる。淡路空港ができ明石架橋が実現すると、それが港の機能と結びついて巨大なアンテナ網ができる。これが神戸の今までのイメージに裏打ちされて新しい異質なものが出る可能性がある。これが情報産業としての可能性ではあるが、これは工業が駄目になって情報産業が栄えるというものではない。全体の経済活動の中で情報産業の持っている経済価値が非常に大きくなって、工業も農業も大きくなる。工業自体の中に、また地方とか都市の中で、どんなそういう転換をはからねばならないという危機感が、新しい時代に適応するために神戸に必要なのではないだろうか。

その中で物を動かすことの意味を適確に知ることです。神戸、大阪、京都にはそれぞれの歴史と個性があるが、現在いわれている工業中心の東海道メガロポリス、瀬戸内海メガロポリスの接点の意味と同時に、インターナショナルな情報都市群の構想を考えたいものです。すなわち神戸、京都、日本海という国際レーダーラインを設置したらどうだろうか。

今まで神戸は港を中心に、要するに物を流通する関連産業が発達してきたのだが、今後考えられることは、巨大な情報港を持って、それに関連する産業、すなわち神戸を素通りさせることで付加価値を高める可能性のある産業、たとえばファッションセンターなどが考えられると思う。それにはむしろ日本をすてらぐらしいの気概で取り組んでいただきたい。それが本当に国際港都としての神戸の面目だと思います。

△文責・編集部▽

COMPUTOPIA 1970

□特集2□

神戸とコンピュター

阿野 昭夫 神戸製鋼企画室システム担当課課長

山本 力 神戸市総務局電子計算課課長

川口 博 川崎重工電算企画課課長

布施 正雄 富士通神戸営業所営業担当

中川 悦夫 三菱重工技術計算課課長

綾部 栄一 富士通神戸営業所システム・エンジニア

藤原 四郎 神戸コンピュターサービス常務取締役

司会 諸岡 博熊 神戸市企画局調査部副主幹

諸岡 最近、情報化社会ということがいわれていますが、この本質が一般では誤解されていてなかなかわからない。その一つの例として、コンピュターという言葉が一般化し、それがコンピュター万能主義とかバラ色のコンピュトピアという夢まででている。現実には一般人としては言葉を知っていてもそのコンピュターを見、また操作することなど及びもつかない複雑な機械であるわけです。原理的なことはある程度、コンピュターの入門書でも読んでいただければ分ると思います。今日は、人間の方からコンピュ

ターを解剖するのではなく、コンピュターの側から人間を観察したいと思うわけです。そうすると案外、情報化社会と騒がれてる本質とコンピュターの機能が結びつかも知れない。それと同時に、神戸におけるコンピュターの浸透状況も分っておく方がいいのではないか。これが編集部の方針であって、今日は私が司会役ということ、よろしく願います。

そこでまずコンピュターを一つくっておられる富士通さんの立場から、コンピュターが、いつ頃から開発されたのか、というところからお話していただきます。

コンピュターも、今や第三世代布施 より早く計算できないかというのは人間の誰れでも希望で昔からいろいろと苦勞している。たとえば有名な哲学者であるパスカルが税務署の役人である父親を見るに見かねてつくったのが、一億までの足し算ができる機械「計算箱」で、当時の人を驚かせた。これが元祖ですかね。それ以後電気工学の発展で、現在の原型ができたのが一九世紀初頭で、それが商用機として使われだしたのは昭和二十五年頃ですから歴史はそう古いものでもない。この当時のも



藤原 四郎氏

のをリレー式と言って、いわゆる
第一世代のコンピュータで、第
二世代のトランジスタ計算機は昭
和三十五年頃、第三世が昭和四十
年頃からIC化の技術の方に進ん
できております。しかしその基本
は、より早く計算すること、記
憶することにあるわけで、今まで
はコンピュータに合わせて人間
を教育し、人間が苦勞していたの



川口 博氏

が、現在は、コンピュータを人
間の方へ近づけようという努力が
なされている。それがハードウエ
アのソフト化で近頃われわれはこ
れをファームウェアと呼んでいる
のです。

綾部 神戸にはいつ頃からコンピ
ューターが入ったかと言います
と、昭和三十年のはじめ、当時日

本でも珍らしい計算センターが純
国産のFACOM一二八というコ
ンピューターを使って、元町の有
隣電気に誕生しました。その後昭
和三十六年、川崎製鉄、甲南大学
へとコンピュータが採用され、
それから利用者が増えましたね。
現在兵庫県下で使われているのは
一〇〇台ぐらいでしょうね。

布施 技術的なことでは、最近プ
ログラムの方が簡単になってきて
スペシャリストでなくても使える
ような機械になりつつありますし
同時にソフトウェアの開発がすす
むにつれて、コンピュータの使
いわけがおこってくる。ですから
当然超大型のものやコンパクトサ
イズのものが技術的に開発されて
行くでしょう。一方、一つのコンピ
ューターを同時に多地域で利用で
きる端末機械の開発が進んでいま
す。それと、コンピュータと人
間を比較する際にいわれるパター
ン認識の問題ですね。人間だった
ら一応は他人の書いた文字は少々
汚なくても読める。特に前後を判
断して読める。それが現在のコン
ピューターでは読めない。この技
術開発は今後面白いと思います。

★結婚相談から設計図製作まで

中川 三菱全体としてはいろいろ
な機種を使っているのですが、神
戸造船所で事務計算と技術計算に

使用しています。まだまだ過渡的
な段階ですので、取りあえず二台
をうまく運用しているわけです。

阿野 神戸製鋼では十台ほど入れ
て、大型が四台、あとは中型、小
型になりますね。機械はIBMと
富士通のFACOMの両方で、事
務計算と同時に、販売、工場自体
のオートメーション化、それと人
事管理があるのですが、一番私ど
もが期待しているのは、注文主か
らの注文の問い合わせに対して即
答できる体制ができたということ
ですね。これは企業競争という点
でも大いにメリットがあります。
また、人事管理の面でも、社員一
人一人のデータがコンピュータ
に記憶されている。ですから結婚
の問い合わせにも十分応じられる
のです(笑)

川口 川崎重工には、昭和四十年
に、技術計算用にFACOM、事
務計算用にIBMを入れて、以後
大型機に置き換えた。当初は事務
計算と技術計算用とがかなりはっ
きり分かれていたのですが、造船
の場合だけ取り出しても、技術計
算と同時に生産管理、経営管理の
問題が出て、だんだんと拡がって
きて今では何でもやりましよう
ということになってきた(笑) 従っ
て現在では十五台ほど各工場に分
散させているが、一般的なデータ
処理と同時に、技術計算、設計



諸岡 博熊氏

の効率をねらっているのです。たとえば設計には製図という重要な問題があるのですが、そういう製図用のコンピュータを三年前に入れまして、簡単な図面ならコンピュータが書いてくれる体制を整えようとしているところです。

川重の各事業部の工場単位で、今年はコンピュータを揃えるという段階にまで来ています。



中川 悦夫氏

山本 市役所にはIBMが一台入っていて、いわゆるデータ処理、事務計算が中心です。市役所の特性として、市民あるいは市域を対象にあらゆる仕事をして、その結果を還元するシステムなのですがとにかく範囲が広いので、現在は各局から出されるデータを処理し記憶させるには、一台では足りない。

い。既に機械がパンクして外部発注させている仕事もかなりあるので、将来はそれらを総合的に統括して、いわゆるタテワリ行政の弊害をなくするように努めたいのです。そのためには、もっと大きな機械を多くほしいですね。でないと本場の市民サービスができません。

諸岡 戸籍謄本や住民登録にしても区役所では時間がかりすぎますな(笑) そういった情報検索の方面にコンピュータを使うことはどうですかね。

山本 データ処理と言っても限界があるのですね。さきほどパターン認識ということが言われましたが、今の所コンピュータが使えるのは数字とか記号だけなんです。最近になってタイプライター、会計機等で印字された文字などを読み取る光学文字読取装置ができたので、今年早々購入することになっています。それでも戸籍だとか印鑑証明などはまだ実用化されるところまで来ていない。

藤原 商工貿易センタービルを建てるという時から、貿易を中心とした情報センターを設けるという構想があったのです。商工会議所が中心になって、いろいろ海外及び国内の事情を調べたのですが、現実的に採算の点がかいもなく見当がつかない。しかし情報社会に備

えて情報センターが当然あるべきで、姫路、伊丹には出ていた。それで神戸にもつくろうということで一応中小企業も利用できるようなところからスタートしようという貿易センターができると同時に機械を入れたのです。実際やっている仕事は、大体がデータ処理で、中規模の会社分で、月間10〜15分程度で済んでしまう。今は明石とか洲本、それから各地の農協からの仕事が続いてきます。この調子で行くと今年の終りには今のコンピュータでは間に合わなくなる。

★柔軟性、弾力性では人間の勝ち

諸岡 ユーザーの方が、現状に即していろいろと有効にコンピュータを利用してはいる、ということがよく分かりましたが、さきほどの話に出ました生産管理、経営管理、人事管理という実際の管理社会にまでコンピュータが加わってきるとどうなるでしょうか。

コンピュータによる管理社会では人間の主体性というものが確保できるのかという点で話を進めていたいただきたいですね。

川口 まだその点に関しては過渡期で、どこまで動くかという事は予測できないところがあります。方向としてはそうなるのでしようが、ただコンピュータを扱っていて一番感じるのは人間のあいま

謹賀新年

KOBEセンスを生かした
信用と伝統の店



▷ゴルフコーナーには、No.1のダンロップ用品を中心にあらゆるゴルフ用品がそろっています。

▷タカハシのオリジナル・バッグコーナーは定評があります。

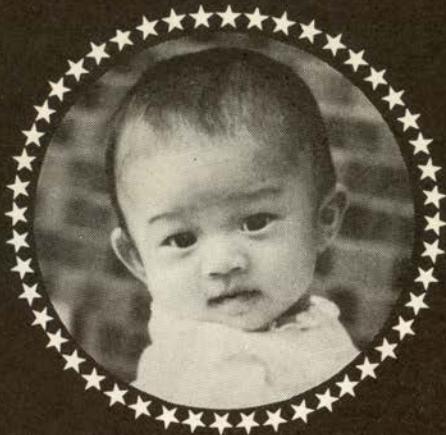


バッグとゴルフ用品の店

タカハシ

神戸・元町3丁目 TEL 33-1172・7782
阪急三宮・マイショップ街 TEL32-3521

こんにちは赤ちゃん



芦屋市 北条 崇ちゃん

完全看護★暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科

〈看護婦募集中〉



芦屋市大槻町9番地
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)

☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

GENERAL  ELECTRIC

世界的GE社が誇る
自動食器洗い機



輸入家庭電化製品

神戸唯一のGE特約店

輸入電化製品の
修理も致します

リイチ産業株式会社

三宮・トア・ロード TEL (078) 33-8673

'70 おしゃれグラス

宝石のように輝く
クリスタルフレーム新入荷



* どこよりも豊富な輸入フレーム、レンズ
ユニークな亀甲枠、手造りの宝石入フレーム
をご覧ください。

★

顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

服部メガネ店

神戸・大丸前 TEL 33-1123



阿野 昭夫氏

いさですね。これは裏返せば人間の弾力性ということになる。このあいまいさと弾力性は表と裏の関係なのです。となるとコンピュータでは人間のあいまいさはかなりつきつめられるでしょうが、そうなると一層人間の弾力性柔軟性の価値が高まってくる。結局はコンピュータとの共存ということになるのではないですか。



山本 力氏

藤原 そうですね。人間の弾力性というのは機械には絶対ない。その限界をよくみきわめて、あくまで法則に従ってコンピュータをコントロールし利用することになる。

川口 判断にコンピュータを利用するというのは昭和三十六年頃からいわれていたのですが、十年

たった現在、その方面があまりのびていない。テレフォン・リサーチにしても計画はよかったが、それで人間の思考をカバーするところまで発展していない。グラフィックにしても音声にしてもまだまだ未開発の分野が残っていますね

阿野 コンピューターのできる範囲が増えて行くだけ、人間の可能性が高まり、それだけコンピュータの限界がはつきりしてくる。

川口 ロボット工学の問題にしても、あらためて人間の複雑さ、優秀さをクローズアップされてきましたからね。

中川 ロボットが計器を見て簡単な操作をする段階まではきているようです。現在のコンピュータの能力発展から言って人間が反対に管理されることはありえないでしょう。そうなれば世の中が味気なくなる(笑)

★構造的にシステムを見る教育を

諸岡 コンピューターを導入しても経営の仕方が泥臭くてはどうにもならない。特に会社で問題になるのはミドルクラスですが、これはコンピュータ時代の人づくりに関連していかでしようかね。

布施 コンピューターに対する見方が現在両極端に分かれているのですね。一つは単なる計算機械だと見ている。もう一つはデーター

さえ放りこめば何でも処理できるスーパーマンだと言う見方。この両極端の見方で、会社の各クラスの方がさまざまな反応を示していると思うのです。

阿野 その点では経営者のメリックに対する評価が変わってきました。最初はコンピュータを導入して人件費がどの位削減できたかというようなことを考えたが、今ではコンピュータを中心にした工場管理をやらないと競争に勝てないと感じだしている。

中川 そうですね。ミドル、トップのコンピュータ教育がだいぶん浸透してきている。

川口 しかし採算上の問題は、省力化とからんで大きい問題だと思いますね。それはまだ、我々の使い方の面で、コンピュータの潜在的な能力を完全に生かしきれていない。社会の方向として、現実に入手不足による省力化を迫られている。そこでコンピュータを導入する。ですからまだまだ積極的利用ができていないと思うのです

諸岡 コンピューターにはプログラミングという作業が必要で、さらに、システム設計者もいる。各社どういう教育をされていますか。

阿野 特定のスペシャリストだけでなく、社内的大半の人が自由に使えるというところまで教育を拡げている。ただコンピューター



布施 正雄氏

のパンチャーなどは別で養成できるにしても、システムエンジニアの教育はどうしたらよいかがなかなかつかめませんね。

川口 私どもでは三レベルの教育という事で、トップ、ミドル、中堅職員に分けている。トップに対しては理念を理解していただいて将来壁にならないように教育をする(笑)ミドルには具体的実践



綾部 栄一氏

面で壁にならないように、中堅職員には、カンツメにして技術の修得をさせています。教育は難しい問題で、実際プログラムができてそれが省力化、効率化になっていくかというところ。となると現在動いている会社のシステムを変えてまでの省力化を計らねばならない。そこにはかなり高度な

行動的にシステムを見るスペシャリストが必要になる。ですから、一つの人間という全体的な構造を抜きにして考えられないのです。諸岡 構造的で行動的な関連をはかったシステム分析のできる人を養成することですね。

川口 システム開発のリーダーになる人ですね。アメリカでは一人前のシステムエンジニアになるためには、大学に五年、企業で五年研究機関で五年、他に官公庁にもおらんとけないということでもなくとも十五年のキャリアがいる。日本ではその意味で遅れています。

阿野 そうですね。データ処理を個別的に捉えるのではどうにもならない。全体の流れの中で、システムの一環としてのコンピュータの効力をいかに高めるかが問題となってきた。その点で縦横の関係を流動的に総合的に見る教育が必要ですね。

藤原 本来、その訓練所として情報センターがあるべきで、我々もそれを目指しているのです。

諸岡 ある程度実際の仕事もタッチできる養成機関を公的に持たなければと、思いますね。

山本 市役所は流動性に欠けているので、市民の方に流動的に窓口で動いていただいているのが現在ですが。これはいづれ一本のシス

テムでアプローチできるようにする。そのために各部局から、そういう見方のできる人を集めて教育をして市役所の機構を再検討していかねばならない。

★望まれる情報の高度利用

川口 企業中心の経営管理から、国家単位の管理システムが考えられている。その場合、東京から離れた神戸という都市で情報がどう流れるのか考える必要があると思いますね。その場合、商工会議所、市役所、県庁といったものを中心にもっと総合的な情報の開発をして行かないと立ち遅れることになる。また企業がどういう情報が必要としているかは、ますます具体的になってくる。それに応じる体制と同時に、地域内での情報の高度利用を大いに推進していただきたい。

布施 私どもメーカーの立場ではそういった企業側の、市民側のニードが開発のテーマにもなるわけです。それを使って、中央に対するローカルの特長性を把握して、そのニードに応えるものを明確に適確に提供していかねばならないと考えているわけです。

△文責・編集部▽

呉那保磯
みよーや

神戸店 大丸
電話 神戸 3332 三四八番(代)
大阪店 阪神百貨店三階
電話 大阪 (361) 九五八四番
姫路店 やまとし百貨店四階
電話 姫路 23 一二二一番

あなたの美しいヘヤースタイルと
花嫁をつくる 美容室 エリザベス



エリザベス

畑尾 美久子

本店美容室 生田神社前 新河南ビル 2階 <33>8894
 婚礼衣裳部 生田神社前 (元本店美容室) <33>3258
 三宮店 三宮神社山側三上ビル 2階 <33>4917
 芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅前 <2>4067
 西宮店 西宮市阪急西宮マンション北館1階 <67>1294
 美容担当 (東京初代遠藤波津子直流) 専属結婚式場
 生田神社・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・住吉
 学園・蘇州園他